

2013年に厚生労働省が発表した簡易生命表では、男性・女性共に平均寿命が80歳を超え、超高齢社会の到来が予測されています。そういった中、団塊の世代が75歳以上になる2025年には、認知症の高齢者が675万人（高齢者の内、5人に1人が認知症）を超えるという推計も出ており、長生きが出来るが故の課題も出てきています。一方で、2015年度には介護保険制度が改正され、福祉サービスの再編により高齢期の在宅生活を促進するために住民の支え合い活動を充実する方針が示されています。西京区では、元気で長生きし、たとえ認知症になったとしても安心して暮らせる地域づくりのために様々な取り組みが行われています。今回は、その一部をご紹介します！



健康年齢を伸ばすためのいきいき筋トレ（健康すこやか学級）

認知症への理解を広げるための認知症サポーター養成講座



京都桂川園が主催した徘徊模擬訓練

認知症の人でも参加できる洛西おれんじカフェ



区内で広がる高齢者福祉の取り組み
安心して暮らせる地域づくり

平成26年度の賛助会員募集活動では、**11,657,245円**のご協力をいただきました。皆さまの温かいご支援は、様々な地域福祉活動に役立てさせていただきます。

地域福祉活動の推進にご協力いただいた法人・事業者様 ※学区毎/50音順/敬称略

多大なご支援をいただきありがとうございました。

桂学区 あらきレディースクリニック 井上産婦人科医院 岡田外科医院 奥沢眼科医院 小石医院 坂本内科クリニック デイサービスセンター元気館 宮本医院	川岡学区 吉田医院 桂メンタルクリニック	松尾学区 井田医院 岩瀬医院 季膳かじか 北村内科診療所 共同管理株式会社 華厳寺（鈴虫寺） 光専寺 紫雲山来迎寺 耳鼻咽喉科なかお医院 飛龍山玄忠院	嵐山東学区 障害者居宅介護事業所 福祉処さくら
桂東学区 青木小児科医院 小石興業 有限会社 たちいり整形外科医院	川岡東学区 総合福祉施設 京都桂川園	榎原学区 株式会社ヨードクリーン 田中ガス工管株式会社 豊坂建材株式会社	新林学区 株式会社エーコーブ京都 洛西大枝店 京都視覚障害者支援センター 障害者支援施設 洛西寮 矢野小児科循環器内科医院 山口医院 洛西けいゆうの里
		松陽学区 京都桂病院	境谷学区 ホテル京都エミナース

平成27年度 西京区社会福祉協議会 事業計画重点目標

1 生活支援サービスの実態把握と新しい助け合い活動の検討

2015年には、団塊の世代が65歳以上になることにより、高齢者の人口が3277万人を超えることが予想されています。また、それに合わせて介護保険制度の改正も行われ、地域で生活する高齢者を取り巻く状況に大きな変化が起



こる状況が予想されています。

その変化に対応し、高齢者が豊かな地域生活を送れるようにするために、京都市社協と連携して、高齢者に対する多様な生活支援サービスの実態把握を行うとともに、新しい助け合い活動を検討していきます。

2 学区区域の福祉活動に関するあり方の検討

平成26年度は、学区社会福祉協議会の事業と財政について議論を行い、今後の助成金のあり方について一定の方針を定めることができました。一方で、従来から継続して実施されている事業等について、現在の社

会情勢や地域生活に合わせて取り組みの趣旨を見直す段階にきていること等が課題としてあげられました。そこで、27年度は、前年度の議論を更に深め、区民の生活を支えるためにどのような学区区域の福祉活動が



必要になるのかを検討していきます。

3 セーフティネットの機能強化

本会が実施しているセーフティネット事業は、生活に困り事や不安を抱えている方が、地域の支え合いの輪の中で支えられ、自分らしく生きていけるように支援を行うことを目的として

います。その実現のためには、地域で活動をする様々な関係機関や関係団体等との連携が不可欠です。そこで本年度は、日常生活自立支援事業において、高齢・障害分野の関係機関

との連携強化を一層図るとともに、生活福祉資金貸付事業では、借受人の生活に寄り添った支援が行えるよう、民生委員との連携強化に取組みます。

ぼらぼらアンテナ

ボランティア活動日誌

手話サークル サンシャイン

会員数：45名
活動日時：毎週火曜日
10時～12時
活動場所：榎原ふれあいルーム
連絡先：西京区社協



手話で情報交換

手話サークルサンシャインは、手話が初めての方も、安心して参加できるアットホームな雰囲気の魅力のサークルです。会員45名の内、10名が聴覚障害のある方です。でも、支援したりされたりという関係ではなく、『ともに歩む』ことがモットーです。

毎週火曜日が例会日で、手話の勉強や情報交換の他、社会見学やレクリエーションの企画も行っています。今年は設立30周年を迎え、記念行事も行いました。現在は30周年記念誌の作成にも取り組んでいます。

設立当時は、聴覚障害者と健聴者が互に集まってコミュニケーションできる場を作る目的で始めました。永年続けることができたのは地域の方々の理解や協力をいただけたおかげだと設立者の鈴木さんはおっしゃいます。

サンシャインでは『ともに歩む』仲間を募集中です。手話の経験がない方も是非気軽にご参加ください。



30周年記念行事 みんなでお出かけ！



クリスマス会のレクリエーション！

ボランティア活動や行事開催時の事故への備えはできていますか？

～ ボランティア保険・福祉行事保険のご案内 ～

ボランティア保険

ボランティア活動中に怪我をしたり、他人に対して損害を与えてしまうなど、事故への不安はありませんか？この保険は、活動中の偶発的な事故による金銭的な損害に対応します。

ボランティア保険 補償内容・保険料（一部抜粋）

プラン（基本コース）	支払限度額・保険金額	
	S 250円/1名	A 300円/1名
傷害補償	死亡・後遺障害保険金	915万円 / 974万円
	入院保険金	5000円/日 / 6000円/日
	通院保険金	3000円/日 / 4000円/日
賠償責任補償	身体障害・財物損壊 3億円/1事故（免責金額なし）	

福祉行事保険

福祉活動や市民活動など、非営利の団体が主催する行事で、参加者の事故等に対応する保険です。地域や団体が、外出や催しを企画される時は、ぜひご加入ください。

行事保険 補償内容・保険料（一部抜粋）

プラン（A：日帰り B：宿泊）	支払限度額・保険金額	
	日帰り 30円/1名～	宿泊 238円/1名～
傷害補償	死亡・後遺障害保険金	467.7万円
	入院保険金	3000円/日
	通院保険金	2000円/日
賠償責任補償	施設所有（管理）者・生産物賠償責任補償	1億円/1名
	身体障害	2億円/1事故
	財物損壊	1000万円/1事故（保険期間中）
受託物賠償責任補償	1000万円/1事故（保険期間中）（免責5000円）	

※プランの種類は、行事内容により決まります。

お問合せ・受付
西京区ボランティアセンター

西京区社会福祉協議会 事業報告

西京区社会福祉協議会では、第3期西京区地域福祉活動計画に基づき、3つの課題に重点的に取り組みました。

重点課題1

学区社協重点目標の達成

平成25年度に立てた学区の重点目標を実現するために、地域の居場所づくりに取り組み、新たに3つの学区で始まりました。（桂東・松陽・大枝）

また、居場所でお聞きする地域住民の相談（困り事）に向きあうために、相談活動充実のための研修を行いました。



重点課題2

生活支援活動の推進

チャレンジ就労体験事業では、8名の生活保護受給者が就労体験を行いました。（前年度比：5名増）
受け入れ先の施設等と連携しながら、体験者に寄り添い、自己有用感を高めて、将来に希望を持って次の一歩を踏み出す支援をすることができました。



重点課題3

セーフティネットの機能強化

生活困窮者を対象として、資金の貸付を行う生活福祉資金貸付事業では、209件の貸付申請（前年度比：24件増）を受付、生活再建の支援を行うことが出来ました。
一方で、償還滞納をしている世帯に対しての対応を強化し、162件の相談指導を行いました。厳しい生活の中で一生懸命生活をされている状況に寄り添い、償還計画の見直し等の柔軟な対応を行いました。



平成26年度決算報告

支出の概要

- 区社協会務運営事業**
 - *法人運営費
 - *賛助会員募集活動費 他
- セーフティネット事業**
 - *日常生活自立支援事業費
 - *生活福祉資金貸付事業費
 - *住宅支援給付事業費 他
- 区ボランティアセンター事業**
 - *福祉教育推進費
 - *西京・福祉フェスタ開催費 他
- 健康すこやか学級事業**
 - *学区社会福祉協議会への事業助成費 他
- 地域支援事業**
 - *学区社会福祉協議会への助成費 他
- 生活支援活動**
 - *福祉送迎サービス事業費 他
- 共同募金配分事業**
 - *福祉ボランティア団体等への活動助成費
 - *学区社会福祉協議会への事業助成費
 - *広報紙発行費 他

